



生 活 文 化 局 公益財団法人東京都歴史文化財団

「タレンツ・トーキョー2018」の実施及び公開プログラムの取材のご案内

東京都は、映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2018」を平成30年11月19日(月)から11 月24日(土)に開催します。会期中には以下のとおり公開プログラムを実施します。是非ともご来場、ご取 材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

■開催趣旨

映画分野における人材育成事業「タレンツ・トーキョー」は、映画監督やプロデューサーを目指すアジアの 参加者(以下タレンツ)に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提 供するものです。映画監督、プロデューサー、セールスの各部門において世界で活躍するプロフェッショナル を講師陣として迎え、講義やプレゼンテーションを通じて参加者の育成を図ります。また、タレンツ同士の交 流や講師とタレンツとの交流、さらには、同時開催される映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画監督た ちとタレンツとの交流により、タレンツが国際的なネットワークを新たに築くことを目指しています。

■開催概要

名 称:タレンツ・トーキョー2018

期 日: 平成30年11月19日(月)から11月24日(土)まで

※「第19回東京フィルメックス」開催期間中の6日間

会 場:有楽町朝日ホールほか

対象者:映画監督、プロデューサーを目指す者 15 名

タレンツ・トーキョー2017 の様子 主催:東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、

国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会(東京フィルメックス)

提携:ベルリナーレ・タレンツ(ベルリン国際映画祭)

協 力:ゲーテ・インスティテュート 東京ドイツ文化センター

■公開プログラム

(1)11 月 22 日(木) 13:00-14:00 公開講義

(2)11月22日(木) 14:30-17:30 公開プレゼンテーション

(3)11月24日(土)16:15-16:45(予定) 授賞式及び閉会式

※タレンツ・トーキョー2018のメイン講師及び参加者については、別紙1をご参照ください。

※公開プログラムの詳細及び取材については、別紙2をご参照ください。

<タレンツ・トーキョー2018 に関する問い合わせ先>

タレンツ・トーキョー実行委員会

TEL: 03-6459-2684 FAX: 03-3403-0530

Email: talents@talents-tokyo.jp

ホームページ: http://talents-tokyo. jp





「2020年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「スマート シティ 政策の柱8 芸術文化の振興」

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。

「カテゴリー:魅力発信 プロジェクト名:東京文化プログラムの拡充・推進」

<取材に関する問い合わせ先>

生活文化局文化振興部文化事業課 安田・舟木 電話 03-5320-7658 内線 29-450 アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 糸園・圓城寺 電話 03-6256-8432



「タレンツ・トーキョー 2018」 メイン講師



(左から、ヴィムクティ・ジャヤスンダラ氏、レイモンド・パッタナーウィラクーン氏、ジュリエット・シュラメック氏、フロリアン・ウェグホルン氏)

ヴィムクティ・ジャヤスンダラ(監督)

1977年スリランカ生まれ。フランスのフレノワ国立現代アートスタジオで学ぶ。初の長編映画『The Forsaken Land』(2005)がカンヌ国際映画祭ある視点部門に選ばれ、カメラ・ドール(新人監督賞)を受賞。長編映画 2 作目『二つの世界の間で』(2009)はヴェネチア映画祭コンペティションで上映され、『Mushroom』(2011)はカンヌ国際映画祭監督週間に選出された。「白い光の闇」(2015)はロカルノ国際映画祭のインターナショナルコンペティションで公開された。2016年に釜山アジアンフィルムアカデミーでアドバイザーを務めた。また、スリランカのコロンボ映画 TV アカデミーの学部長を務めている。

レイモンド・パッタナーウィラクーン (プロデューサー)

9ヶ月におよぶ脚本集中プログラム東南アジアフィクションフィルムラボ SEAFIC のエグゼクティブ・ディレクター。『見習い』(ブー・ユンファン監督/カンヌ国際映画祭ある視点部門 2016)、『サムイの歌』(ペンエーグ・ラッタナルアーン監督/ヴェネチア国際映画祭ヴェニスデイズ部門オープニング 2017)、『HEADSHOT』(ペンエーグ・ラッタナルアーン監督/ベルリン国際映画祭パノラマ部門 2011)など多くの国際共同制作を手がけている。また、トロント国際映画祭、トロントリールアジア国際映画祭のインターナショナル・プログラマー、香港国際映画祭とカンヌ国際映画祭批評家週間のプログラムコンサルタントにも従事していた。

かつては、インターナショナルセールスエージェントのフォルテシモフィルムズのマーケティングと特別プロジェクトのディレクターを務め、香港アジアフィルムファイナンシングフォーラム (HAF) の委員やアジアンフィルムアワードのアドバイザリーメンバーも担った。ベルリン国際映画祭やシアトル国際映画祭をはじめとする多くの国際映画祭の審査員を務めた経験もある。

ジュリエット・シュラメック (MK2 Films マネージング・ディレクター)

パリで生まれ育つ。パリ第二大学大学院とパリ政治学院で法律とビジネスを学びながらカルチエ・ラタンにある洗練された映画館の一つで働く。その後、フランスの映画学校のラ・フェミスにて映画配給を専攻しレ・フィルム・デュ・ローザンジュ社で働き始める。(エリック・ロメールとバーベット・シュローダーによって設立された)インターナショナルセールス部門で働く前は、同社で劇場配給に従事していた。

2007年にフランスの映画配給・制作会社 MK2 Films の一員になる。ヨーロッパへの映画セールスを担当したのち、海外配給、セールス、買付けのマネージング・ディレクターに就任する。彼女が担当した監督は、チャールズ・チャップリン、デヴィッド・リンチ、フランソワ・トリュフォー、ロベール・ブレッソン、ガス・ヴァン・サント、グザビエ・ドランなどである。

買い付け及び共同制作の最新作は『Cold War』パヴェウ・パヴリコフスキ監督(カンヌ国際映画祭最優秀監督賞)、『Ash is purest white』ジャ・ジャンク一監督(カンヌ国際映画祭コンペティション)、ジャック・ドゥミとアニエス・ヴェルダコレクションなど多くの国際的に著名な監督作品である。同時に若手監督の作品も手がけている。

また、今回のプログラムにはベルリン国際映画祭 (ベルリナーレ・タレンツ) より、フロリアン・ウェグホルン氏 (プログラム・マネージャー) も参加いたします。

「タレンツ・トーキョー2018」 参加者 (タレンツ)

監督:

Abdul ZAINIDI(ブルネイ)

Zi GAO (中国)

Hao ZHOU (中国)

Jenny SUEN(香港)

神保慶政 (日本)

Donggyun HAN(韓国)

Xaisongkham INDUANGCHANTHY (ラオス)

Amanda EU (マレーシア)

Carlo Francisco MANATAD (フィリピン)

I-Hsuan SU(台湾)

Chia-Hsin LIU (台湾)

Sompot CHIDGASORNPONGSE (タイ)

Patiparn BOONTARIG (タイ)

プロデューサー:

今井太郎 (日本)

Dan KOH (シンガポール)

*氏名(国·地域名)

*参加者名は国・地域名のアルファベット順で表示しています。

【タレンツ・トーキョー2018 公開プログラム取材のご案内】

1 公開プログラム概要

(1)11月22日(木)13:00~14:00 公開講義「映画業界における海外マーケットについて(仮)」

講師:ジュリエット・シュラメック氏 (MK2 Films マネージング・ディレクター) フランス映画配給・制作会社 MK2 Films にて買い付け及び共同製作を担当している。『Cold War』パヴェウ・パヴリコフスキ監督、『寝ても覚めても』濱口竜介監督、『山河ノスタルジア』ジャ・ジャンク一監督など著名な映画監督の作品を手がける。【日本語同時通訳あり】

(2) 11月22日(木) 14:30~17:30 公開プレゼンテーション

参加者がプロデューサーや配給会社に対して、自身の企画のプレゼンテーションを行います。 ※ 著作権保護のため、動画撮影はご遠慮ください。【日本語同時通訳あり】

(3) 11月24日(土) 16:15~16:45(予定) 授賞式及び閉会式

公開プレゼンテーションを行った企画のうち、優秀な企画1点を表彰します。

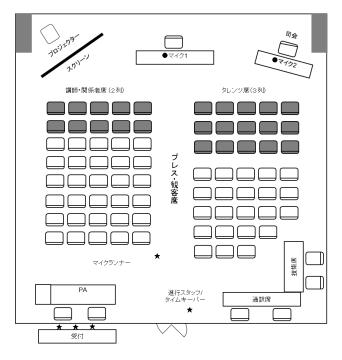
【日本語逐次通訳あり】

2 会場

有楽町朝日ホール・スクエアB

東京都千代田区有楽町二丁目5番1号 有楽町マリオン11階

- ·JR(山手線·京浜東北線)有楽町駅 中央口または銀座口
- ・東京メトロ(日比谷線、丸の内線、銀座線)銀座駅 C4出口
- ・東京メトロ(有楽町線)有楽町駅 D7出口
- ※いずれも徒歩1~2分
- ※ホール入口へは、映画館チケット売場横のエレベーターで11階までお越し下さい。





(有楽町マリオン11階) (Tel.03-3284-0131) (Fax.03-3213-4386)

ギャラリ

3 取材申込方法

取材を希望される場合は、**平成30年11月20日(火)正午**までに、別紙3「取材申込票」によりFAXにて生活文化局文化振興部文化事業課(FAX:03-5388-1327)へお申し込みください。

4 取材受付

(1)受付時間

各プログラムとも開始予定時刻の15分前から受付を開始いたしますので、お申込みプログラム開始の5分前までに受付を済ませてください。お申込みをいただいていても時間までにご来場されない場合、お席の準備ができないことがありますので、予めご了承ください。

(2) 受付場所等

会場入口のプレス受付にて、取材申込票もしくはお名刺をご提示の上、社名・人数をお知らせください。「プレスパス」をお渡しいたします。

5 取材ポイント

プレス席をご用意しておりますので、取材はプレス席よりお願いいたします。指定場所以外での取材はご遠慮ください。

6 撮影について

- (1) 本事業にて撮影した動画・写真を、番組制作等、報道以外でご使用の場合は、必ず事前にご相談ください。
- (2) 11月22日(木) 14:30~17:30「公開プレゼンテーション」については、動 画撮影は禁止とさせていただきます。また、発表中のスクリーン映像については、動画撮影 に加えて写真撮影もご遠慮ください。ご迷惑をおかけしますが、著作権保護及び円滑なプロ グラム進行のため、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

7 取材における留意事項

- (1) 取材にあたっては、自社腕章及び受付でお渡しする「プレスパス」を着用してください。
- (2) 会場の都合上、プレス席、プレスエリアが手狭となっております。各社譲り合いのご協力をお願いいたします。
- (3) プログラム実施中の出入りは固くお断りいたします。また、会場内では、係員の指示に従ってください。
- (4) 取材に必要な電源は、各社にてご用意ください。
- (5) 当日、講師・参加者へ個別取材をご希望される場合は、取材受付時にお申し出ください。
- (6) プログラムの内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

「タレンツ・トーキョー2018」 取材申込票

取材申込期限 11月20日(火)正午 まで

FAX:03-5388-1327

あて先:生活文化局文化振興部文化事業課 担当:栗原 行

御社名
取材代表者氏名
連絡先(携帯電話)
人 数 人
(ペン・ ムービー ・ スチール) (該当に〇)
※ 取材を希望するプログラムの□に√をつけてください。
□11月22日(木)13:00~14:00 公開講義
□11月22日(木)14:30~17:30 公開プレゼンテーション
□11月24日(土)16:15~16:45(予定) 授賞式及び閉会式
※ご来場の際は、本票もしくはお名刺を受付でご提示ください。 ※ご記入いただいた個人情報は、出欠の確認以外に使用することはございません。 ※当日は、お申込みプログラムの開始予定時刻5分前までに受付を済ませてください。 お申込みをいただいていても時間までにご来場されない場合、お席の準備ができないこと がありますので、予めご了承ください。